

34組御遠忌通信

第1号

2008年9月16日発行

今、いのちがあなたを生きている

— 宗祖としての親鸞聖人に会う —



宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌にむけて



三十四組門徒会会長
天野 充

一 海と生命いのち

一二〇七〔承元元〕年、朝廷の専修念仏せんじゆねんぶつ禁止令により、親鸞聖人は越後の国府〔現在のの上越市〕へと流罪になり、一二一四〔建保二〕年に常陸の国〔現在の茨城県の一部〕へ移られるまで雪国で暮らしました。荒涼とした地で赤裸々に生きていた人達に接した聖人は、本願念仏の教えを説かれましたが、聖人の手紙や書物には雪に関連した記述が少なく、海について説かれているものが多いといわれています。

多くの川が日本海に流入して混じり合い、やがて同じ海の水となっています。これを見て聖人は、仏の本願もこの海のようにではないかと思つたのでしょうか。

親鸞聖人が私たちに残した正信偈にも

唯説ゆいせ弥陀本願海みだほんがんかい 五濁ごじよく惡時あくじ群ぐん青海じやうかい

また
帰入功德大宝海
必獲入大会衆数

さらに
開入本願大智海
行者正受金剛心

などと、お釈迦様がこの世に

現れたのは海のように深く広い願いを説くためであると述べられています。

水の惑星とよばれる地球にはどのくらいの水があるでしょうか。水は海や川・湖・大地・動植物の体内のほか大気中に存在しています。地球上の水の総量はおよそ二三・八億立方 km で、このうち海水が約九七・五%、残りのわずかに二・五%が陸地の水、生物体内の水は0・000一%です。

海洋の水も陸の水も太陽エネルギーで温められて水蒸気となり、雲に変わってやがては

雨や雪となり、再び海や大地に戻ってきます。

海で生まれた生命は、その後陸上にまで広がり進化し繁栄しています。海は生命のゆりかごともいえるでしょう。

二 感謝の人生

「人生を豊かに過すには、物事に感謝・感動する心が大切」といいます。ところが、近年は便利な生活を追求するあまり、感動や感謝・思いやりの大切さを忘れた社会になってしまいました。その結果が事件や事故に繋がり、また地球の環境破壊や温暖化などに向かっているのではないのでしょうか。

ニュース報道などで事故について「ヒヤリ・ハット」の話が出ますが、防災関係では「ハインリッヒの法則」が知られています。これは「一つの大きな災害の陰には、二十九の小さな事故と、何事もなく済んだ三百もの事故の卵がありますよ」というものです。平素から行いには注意しなければならぬという戒めです。

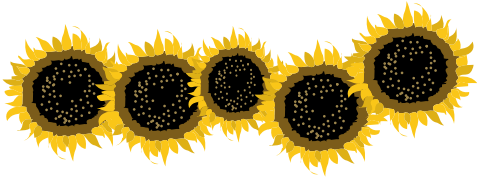
また、中国大陸から偏西風に乗って飛んでくる黄砂ですが、発生源の一つといわれているタクラマカン砂漠は石油の宝庫です。ということは、かつては森林地帯だった地域が環境の変化で砂漠になってしまったわけで、中国北部の砂漠はやがて北京郊外にまで達しそうだといわれています。

このごろ日本では猛暑や豪雨に見舞われることが多くなりましたが、これは都市化による環境の変化が要因の一つだとされています。昔の生活をもう一度考えてみる必要があるようです。



「草木国土悉皆成仏」といつて、人間や動植物のほか、山や川にも生命があるという思想があります。悉皆成仏というのは涅槃経の言葉で、生きているものは皆成仏するという意です。自然や周りのものを思いやる気持ちを感じにもつながる仏教の心だと思えます。

参考文献（中村薫…正信偈62講（法蔵館） 東本願寺…真宗の教えと宗門の歩み 中野秀章ほか…森と水のサイエンス（東京書籍） 倉嶋 厚…お天気博士の春夏秋冬（二笠書房） 倉嶋 厚…日本の気候（古今書院） 新村 出…広辞苑（岩波書店）



明通寺住職
池山 真一

御遠忌に向けて

親鸞聖人がお生まれになった
一一七三年は、平氏政権全盛
の時期でした。前年七二年に
は後の建礼門院徳子が高倉天
皇の中宮になりました。しか
し、十歳の年には義仲によっ
て平氏は都落ちし、十二歳の
時、屋島・壇ノ浦の戦いによ
り平氏は滅亡します。鎌倉政
権誕生の後も戦乱が続き四八
歳の年には承久の乱が起きま
す。一二六二年に亡くなるま
での間には戦乱の他にも、飢
饉や風水害も度々起きました。
戦場に夫を亡くした妻の苦渋
や、飢饉や疫病で親や子を亡
くした者の悲嘆が街に溢れそ
れが往生思想の流行を齎した
といえます。一一七五年法然
上人が専修念仏に帰し、九八
年には九条兼実の求めに応じ

て「選択本願念仏集」を著し

浄土宗を確立しました。親鸞

聖人は一二〇一年法然上人を

訪ね他力本願に回心しました。

翻つて現代はどんな時代で

しょう。確かに医学は発達し

平均寿命は延び、また戦場で

命を落とす現代日本人はほと

んどいなくなりました。しか

し確率が如何に低くなって

も、自分がその一人に当たれ

ば同じことです。たとえ戦争

での死者が十人しかいなくて

も、もしその中の一人に自分

の身内がいれば、全く同じよ

うに悩み、苦しみ、悲しまな

くてはなりません。いや世の

中が複雑になった分余計に苦

しまなくてはならないのかも

しれません。科学的な知識を

十分に身に付けた現代人は自

分が理解できることだけを信

じ、自分が正しいと主張しま

す。確かに科学技術の発達は、
人類の夢を次々に現実のもの

にしてきました。

様々な病気を克服し、老化を

遅らせようとしています。し

かし、人が生きている限り、

年若いやがて死を迎えること

は代わりません。その悩みも、

今も昔も変わらないはずで

す。どんなに科学技術が進歩して

も、私は「煩惱具足の」わた

しでしかありえません。

こんな現代に親鸞聖人が

いらっしやったら何をおつ

しやったでしょうか？



34組組長
別符 聡

34組御遠忌通信発刊にあたって

前回の七〇〇回御遠忌は

一九六一年に勤められました

が、その時私は二歳でした。

もちろん何の記憶も残ってい

ません。その御遠忌がまもな

くやってまいります。

三年後の七五〇回御遠忌に向

けて本年度より年三回「三十四

組御遠忌通信」を発刊してま

いります。これは御遠忌をよ

り主体的に受け止めていただ

き、ただの大きな法要を勤め

ることだけに終わらせずに、

御遠忌法要が勤められてきた

その願いに出遭い、私たち自

身の生き方を転換するような

大きな意味を見いだしていき

たいからです。

「御遠忌にこんなことを感じ

ている」あるいは「七〇〇回

御遠忌に上山したときこんな

ことがあった」など、門徒の

方の様々なご意見を投稿して

いただきますようお願い申し

上げます。ご意見、ご感想あ

りましたらお手次ぎのお寺ま

でご連絡をお願いいたします。



お知らせ

「34組」とは静岡から藤枝・島田に在る真宗大谷派(東本願寺)寺院の集まりです。また、みなさまのお寺が所属される34組では、一年を通じて様々な教化事業を行っております。この「同朋教室」は親鸞聖人のお話を聞く聞法会です。詳しくはお手次のお寺にお尋ねください。

同朋教室

今、いのちがあなたを 生きている
宗祖としての親鸞聖人に会う

人間は苦楽の間に立ち、苦から逃げたり楽を追ったりする、四苦八苦の毎日である。
自分が人間として生まれたよこびやいのちの尊さをどれほど自覚しているのだろうか。
「なぜ生まれてきたのだろう」
「人生とは何だろう」
「幸せとは何だろう」
ふと立ち止まって自分の人生をじっくり考えてみようと思ったら、今、親鸞聖人の教えに問い訪ねてみませんか。

第1回
とき
2008/12/19 (金) 13時~15時半
ところ
静岡別院
講師
曾我祐賢師(専念寺住職)
伊藤滋師(敬信寺住職)
熊谷法昭師(蓮生寺住職)

第2回
とき
2009/1/22 (木) 13時~15時半
ところ
専念寺(静岡市清水区上)
講師
仲谷俊昭師(岐阜往明寺住職)

第3回
とき
2009/2/23 (月) 13時~15時半
ところ
蓮生寺
講師
一楽真師(大谷大学准教授)

会費 800 円 (3 回通して 2000 円)

34組寺院

静岡別院	静岡市葵区屋形町 50	054-253-1737
敬信寺	島田市旗指 3050-1	0547-37-2502
蓮生寺	藤枝市本町 1-3-31	054-641-2156
常光寺	静岡市葵区常磐町 2-4-3	054-252-8930
西敬寺	静岡市駿河区大谷 5105	054-237-5466
福泉寺	静岡市葵区大工町 4-1	054-252-3732
明泉寺	静岡市葵区上石町 3-1	054-253-1734
願勝寺	静岡市葵区車町 50	054-253-3665
真勝寺	静岡市葵区長沼 2-18-23	054-261-3328
明通寺	静岡市清水区入江 3-6-30	054-367-0195
専念寺	静岡市清水区上 1-10-14	054-352-6445
専長寺		